

## 別紙 2021年度長野県大会におけるCOVID-19に対する対応について

2021年度長野県スポーツライミング大会においては、公益財団法人日本スポーツ協会による「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」に基づき、公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会国体委員会により策定された「国民体育大会スポーツライミング競技 COVID-19感染予防ガイドライン」に基づいて大会運営をする。

以下に関係部分を抄録するが、参加者は長野県山岳協会HP上に公開されている日本山岳・スポーツライミング協会国体委員会により策定された「国民体育大会スポーツライミング競技COVID-19感染予防ガイドライン」

([www.nmaj.org/branch/kokutai\\_covid\\_guide.pdf](http://www.nmaj.org/branch/kokutai_covid_guide.pdf)) を熟読、理解して参加すること。

なお、健康チェック表1、2の提出は必須事項であるので、注意すること。

### 公益財団法人日本スポーツ協会

#### 国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針（抄）

#### IV. 国民体育大会における対策

##### 1. 国民体育大会における共通予防対策について

国体の開催にあたり、すべての参加者個人が、感染予防対策を確実に実行することが感染拡大防止の基本である。以下の事項を感染予防対策の基本とし、主催者（運営者）は様々な場面において予防対策の確実な実施に向け準備・運営にあたる。

##### <国体における共通予防対策>

- 手指衛生の励行
- 競技およびウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用
- ソーシャルディスタンスの確保
- 「3密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避
- 禁煙の推奨
- 毎日の健康と行動の記録（体調管理チェックシート）の事前提出・必要に応じた事後報告
- 体調不良の場合（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）、参加自粛
- 大声での会話・応援の自粛
- 接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨
- 大会期間中の不要不急な会食の自粛
- 選手、関係者、観客などのゾーニング確保

## 日本山岳・スポーツクライミング協会国体委員会

### 「国民体育大会スポーツクライミング競技 COVID-19 感染予防ガイドライン」(抄)

#### ◎感染防止対策 共通事項

- 選手/チーム関係者および競技役員は、競技会前の2週間の「健康管理」を徹底し、「健康チェック表」の提出を行い、感染予防に協力をする。
- これらが守れない場合は、感染予防の観点から「退場」とする  
選手/チーム関係者および競技役員は、競技会前の2週間の「健康管理」を徹底し、「健康チェック表」の提出を行い、感染予防に協力をする。
- 毎日の健康と行動の記録(体調管理チェックシート)の事前提出・必要に応じた事後報告
- 体調不良の場合(例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)、参加自粛については、厳守事項として、コロナ禍における国体への参加(都道府県予選会、ブロック大会含む)に際して、参加資格と同等の取り扱いとする。選手・監督をはじめ、大会役員や競技会役員など、大会に参加・参画する際には、確実な実行を。

#### ◎選手チーム関係者への実施事項

- ① 競技エリアに入場する、選手 競技関係者は、競技会2週間前からの、体調管理及び検温を義務付け、指定の「スポーツクライミング COVID 19 対応健康チェック表2」(以下「健康チェック表 2」)に記入のうえ提出する。  
※「チェック表1」「チェック表2」ともに、競技会終了後1月以上、「個人情報の取扱いに十分注意を払い」保管し、保管期間後は、適正に廃棄する。廃棄した場合は、「廃棄日の記録」を残すこと。
- ② 当日、「健康チェック表1」(検温、問診)の提出を行う。 ④ 事前、当日の健康チェック表において体調不良、当日体温が 37.5C 以上である場合は、出場を認めない。「棄権」とする